

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第4回西脇市地域福祉計画推進会議
開催日時	令和8年1月27日(火)午後1時30分～午後2時35分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	谷口泰司、丸山善彦、久米敏正、大橋正子、伊達恵一、坂本修三、岡野雅代、高瀬利明、河原淳、藤井志帆、藤原八穂、高須賀千枝、林千恵子、脇谷哲史、成徳明美、齋藤周藏、中山真理子、岸本信子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	吉田昇、柴垣美佐枝
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部長兼福祉事務所長兼はぴいくサポートセンター長 村井真紀 社会福祉課 課長 正木万貴子 はぴいくサポートセンター 主幹 長井恵美 長寿福祉課 課長 浦川知美 社会福祉課 課長補佐 廣畑万紀 社会福祉課 職員 長井隼也 株式会社 名豊 今枝小百合
傍聴人の数	1人
協議又は協議事項	(1) パブリック・コメント実施結果の報告 (2) 第4次西脇市地域福祉計画の策定
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は18名 傍聴者は1名 交代委員の紹介
会 長	2 あいさつ
事務局	(資料確認) ここからの進行は、会長にお願いする。
会 長	議事録署名人の指名 齋藤会長と岡野委員に決定

	<p>3 協議事項</p> <p>(1) パブリック・コメントの実施結果の報告について、事務局から説明を願う。</p>
事務局	(事務局より資料説明)
会長	<p>ご意見、ご質問等はあるか。</p> <p>無いようなので、パブリック・コメントの実施結果については、これで進めてよいか。</p> <p>(了承)</p> <p>次に、協議事項(2)第4次西脇市地域福祉計画の策定について、事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より資料説明)
委員	<p>細かい点について確認したい。地域福祉計画の第何次という表記の数字が、三次までは漢数字で、4次からは算用数字となっている。そうであれば、資料編78ページの令和7年2月21日の第四次地域福祉計画は算用数字とするべきではないか。</p>
事務局	<p>令和7年2月21日の時点では漢数字としていたが、当日の会議の中で協議いただき、以降は算用数字で表記にすると決定した。</p>
委員	<p>今までもアウトリーチという言葉はあったが、困った人が市に向き、市の係の方に相談するようなシステムが多かったと思う。このように、市の係の方から支援できる内容を積極的に説明していただけることが記載されているので、大変心強く、ありがたいと感じる。高齢の方、障害がある方も歳を重ねて、多くの問題を抱えている。迷っている、助言が欲しいと期待している場合は、差し伸べていただける手の本数は多ければ多いほどありがたいと感じているので、これからもよろしく願いしたい。</p>
会長	<p>他にご意見、ご質問等はあるか。</p> <p>無いようなので、第4次西脇市地域福祉計画の策定については、これで進めてよいか。</p> <p>(了承)</p>

委員	<p>各委員から、計画策定に携わっていただいた感想やご意見等を一言ずつお願いしたい。</p> <p>途中での交代だったので、初めの頃はわからないことが多く、どのようなことがされているのか把握することに努めた。計画の様々なことが訂正されていく過程で、第4次計画がすばらしいものになったと感じている。社会福祉協議会も含め、これを実際に進めていくことが大切で、文言だけで終わるものではないということを、深く胸に刻みたい。</p>
委員	<p>民生委員・児童委員を代表して参加している。早2年経ったのかと感じている。最初のころは戸惑いもあったが、審議の過程を見せていただき、計画の深さを実感した。</p> <p>団体の代表として参加しているので、今後、この答申が承認されたら、それを自分たちの団体の中でいかに進めればよいのか、若干悩んでいる。審議会では様々な計画が作られているが、計画として実施された以上は、計画の進捗管理が一番大切である。時代もめまぐるしく変わるので、今後、この計画の進捗状況に重きを置いて、今後の活動の中で活かしていきたい。</p>
委員	<p>主任児童委員として日頃活動している。私自身の活動に関わることとしては、小さな子どもから大人まで、特に重層的支援体制の整備についてであると思う。これは何かと興味を持ち、詳しく聞く中で、この言葉こそが私が求めていたものだと感じた。小さな子どもには支援する人がたくさんいても、大きくなり成人になると支援がなくなってしまう。どこに相談したらよいのかと、よく市役所の窓口で話をしに行った。重層的支援体制が整えられたことで、最近は順調に進むようになり、取り残されることなく、みんなに支援が届くことが増えたと感じている。このことに、まだしばらく携わっていくので、応援していきたい。</p>
委員	<p>重層的支援体制の整備について興味があり、自分が関わるのはこの部分だと思い、保育や社会福祉の団体で何ができるのかを考えている。目に見える問題を抱えている方だけを相手にするのではなく、全市民を相手にするようなもので、皆さんに関係するアクションが少ないように感じる。私自身も、自分が何をすべきなのかを模索</p>

<p>委員</p>	<p>している状況である。</p> <p>パブリック・コメントに関しては、すでに進めていることについて、情報として届いていないのか、もっと進めてほしいということなのか、意見者の意思がわからない。</p> <p>用語解説の説明のところに「重層的支援体制整備事業」という言葉がなかったので、この言葉も説明するとよいと思う。</p> <p>市老人クラブ連合会から参加している。私どもの組織でも高齢化が問題となっており、単位で区切っても平均年齢は81歳を超える団体となっている。</p> <p>多岐に渡る課題をまとめると、何十ページもの膨大な計画資料ができたが、今後、これを誰が見ていくのかと懸念する。この膨大な資料の中に高齢者、老人という単語がどれほどあったのかといえば、ごくわずかである。市の抱える課題の範囲は広範囲だと改めて納得し、私たちの立場で盛り上げていかなければいけないと感じる。今後、計画を運用していくことが大変だと痛切に感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>困り事を抱える高齢者や障害のある方が、周囲にたくさんいる。私は今まで、政府から助けていただく、行政から助けていただくという感覚をもっていたが、共助というものは本当に大切だと最近感じている。みんなで助け合い、どのようにしたらよいのか意見を出し合い、方向性を決めていけるとよいと思う。私は、まず団体の中で、どのような問題を抱えているのか、これからどうしていけばよいのかということ話し合う場をもてるとよいと考えている。親も高齢化し、障害がある本人も年齢を重ねていく中で、これからの在り方を考えると、皆さんのお力をいただかないと進めていけない。そのような方々が安心して暮らせるように、周りの母親と考えていきたいと思う。意見を少しずつ溜めていき、またこの場で提案できるようにしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私の所属する団体は、知的障害と精神障害の親の集まりの家族会である。会で集まると、話題はいつも同じ親亡き後のことで、結論が出ない話を何年も前からしている。今回の計画の中に、市もグループホームについて積極的に進めていこうという内容が明記され、大変喜んでいる。</p>

委員	<p>障害者基幹相談支援センターでは、0歳から65歳を超える幅広い年齢の障害がある方に関わる活動をしている。障害がある以前に、0歳児には0歳児の暮らしとして、こども園に行くこと、小学生であれば学校に行くこと、大人になれば就職すること、また地域で活動するとなれば、地域住民の方との関わりというものが必要になる。このような計画があり、いろいろな関係者の方がいるということ、障害分野で活動している人に広く知っていただくために、この計画のことを周知して、利用者の方が必要な支援のところに繋げていけるように、情報を確保していきたい。</p> <p>また、計画策定に参加して改めて交流できるような関係づくりをしていきたいと感じた。現在、障害に関わるグループだけでなく、ひきこもりのグループとも交流があるが、今後他にも子育てサークルや高齢者グループともつながっていけると、利用者さんたちの生活の幅も広がると思う。</p>
委員	<p>地域包括支援センターは、地域の高齢者の一番身近な相談窓口として、日々相談を承っている事業所である。この地域福祉計画が、どの世代の方にも広く周知され、不安なく西脇市で暮らしていただくための一助となるとよいと考えている。</p>
委員	<p>ボランティア団体の代表としてこの会議に参加することになり、膨大な資料もいただいたときには、自分が参加してよいものかと思ったが、2年間、いろいろなことを勉強させていただき、感謝している。</p> <p>私が現在関わっているのは、眼が不自由な方である。普段は点字が読める方に資料を送ったりしているが、最近は目が不自由で、点字も読めない方と接する機会がある。以前は、一日中ヘルパーさんが付いて交流会にも参加いただいていた方が、最近は、ヘルパーさん利用の時間が限られ、外出することが難しくなったという話を聞く。そのような場合は、どこに相談すればよいのか、私自身も勉強したいと考えている。</p>
委員	<p>私も、最初は場違いな感じを抱いていた。ボランティアで、眼の不自由な方に、市の広報紙を読む「声の広報」をしている。普段、感じたことを話すと、眼の不自由な方は、外出に大変な困難をきたしている。中途失明者の方は、特に交流を求めている場合が多く、</p>

	<p>40歳代、50歳代、60歳代で、まだ現役で活躍できる方が家に閉じこもってしまうことは残念で、何とか手をお貸しできないかと常々考えている。そのような方が市役所に出向かれても、個人情報保護に阻害されて、何も教えてもらえないと、大変さみしい思いをされている。そのような場合は、民生委員や地区の役員があたたかく手を差し伸べていくべきだと感じている。</p> <p>このような立派な計画書ができて、仏をつくって魂入れずにならないように、計画ができあがっても安心することがないよう、私どもも含め市の方にも、より底辺から拾い上げていくことに神経を注いでいただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>校長会の代表として参加している。この計画を初めて見て、行政の方がきちんと計画し、いろいろな組織、団体の方と計画的に策定を進めるということを知り、勉強になった。</p> <p>子どもたちが大きくなったときに、西脇市の福祉を背負って立つことになるので、教育の責任を感じた。子どもたちには体験というものも重視しながら、誰かに何かをしてもらうのではなく、自分たちが人のために何ができるのかを考えられるように育てていく必要を感じた。</p>
<p>委 員</p>	<p>兵庫県加東健康福祉事務所の行政の立場から、このような計画を見せていただき、大きな計画をつくることの大変さを感じた。人事異動のため、後半のみの参加だったが、大きな計画に携わり勉強できたことに感謝する。</p> <p>資料編80ページの委員名簿の私の肩書だが、兵庫県を付けて表記をしていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>ハローワークの立場から令和7年4月から参加した。ハローワークの管轄は西脇市だけではないが、この地域にあるハローワークとして、立派なしくみの中でどのような役割が担えるのかも考えながら参加させていただいた。</p> <p>ハローワークは、福祉の各分野である障害、高齢、子育て、女性、生活困窮、生活保護、ひきこもり等の多くの分野と密接な関わりがある。扱っている雇用の分野でハローワークができることは限られる。目の前に来られている方の課題を解決することは、ハローワークだけでは到底できない場合が多いので、つながりを持つというこ</p>

委員	<p>とで、関係機関でのケース会議等を実施し、各分野につながられるように取り組んでいきたいと改めて考えた。</p> <p>保護司会代表として参加しており、委員として参加の話を貰ってから、前任者より分厚い資料をいただき読み始めた。なかなか難解で、アウトリーチという言葉も理解できなかった。文言に慣れると、以前いただいた資料の形式が気になったが、本日の配付された概要版については大変よくまとまっていた。今後も、一市民として、また少し携わった者として、見守っていきたい。</p>
副会長	<p>医師会会長として参加した。2年間、推進会議に参加させていただき感謝している。立派な計画案ができた。今後の実施、運用の中で不具合等がでてくる可能性もあり、人事異動もあるかと思うが、重層的という言葉通り、横縦の関係をしっかりと引継いでいただき、活用していただきたい。</p> <p>本日参加の団体の方もより一層、この計画案に沿った横のつながりを大事にして共に進んで行けるとよい。また、そのような機会が持てるとよい。健幸都市西脇をめざし、一緒にがんばっていきたい。</p>
副会長	<p>学識経験がある者として関西福祉大学から参加した。80ページの委員名簿と会議資料として配布している1枚ものの名簿で、区分の仕方が異なる。1枚ものの資料の方が丁寧な区分になっているので、可能であれば技術的な修正をお願いします。</p> <p>計画全体を通して、2年間、丁寧な会議を重ねて、大変よい計画ができた。内容については問題ないと思う。今後、この計画を上手く回していくことが大事になる。内発的動機付けが重要で、言われたからやるのではなく、自らがやるということである。役所の関わり方も、1年目が一番、力を入れる必要があると思う。車や自転車も走り出すときに一番エネルギーが必要である。最初にどれだけ地域に関わっていけるか、平均的な関わり方しかできないのかで、今後の6年間の計画運用を左右する可能性があると思う。</p> <p>地域に寄り添う専門人材に関しては、役所や地域だけでなく、私ども大学等の専門機関の役割であり、計画には関係なくても重要になってくる。前倒しのアナウンスになるが、地域が消滅していくときにも寄り添えるような、あるいは地域の魅力を発信するブランディングができる養成課程を考えている。今後、西脇市だけにとどま</p>

<p>会 長</p>	<p>らず、同じような消滅集落を抱えているところに関わっていける大学機関になりたいと考えている。</p> <p>各方面から貴重なご意見やいろいろなご提言をいただき、感謝する。これを生かしていけるように、皆様の協力をお願いします。</p> <p>他になければ、以上で本日予定していた協議事項はすべて終了した。委員の皆様には、円滑な会議の運営に協力をいただき感謝申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料編の用語解説に「重層的支援体制整備事業」という文言を入れた方がよいというご意見があったので、事務局で修正を加えさせていただき、委員名簿についても指摘いただいた箇所を修正する。事務局に一任していただいてもよいか。</p> <p>(了承)</p> <p>この後、本日協議いただいた答申書は、委員を代表して会長と副会長とで市長に提出していただく予定としている。</p> <p>計画書は、本日お配りした概要版は、ルビ付きのものとルビなしのもので、やさしい版と共に今後印刷製本を行う予定の案であるが、活用し計画の周知に努めたいと思う。やさしい版は初めて作成する。子どもから大人までを対象に何が書いてあるのか何をめざしていくのかを、わかりやすい表現で説明している。今後、様々なイベントや子どもの意見を聞く機会等を捉え、福祉について共に考えていく機会をつくっていきたいと考えている。パブリック・コメントの意見にもあったように、区長会や地域自治協議会等にも周知をさせていただきたいと考えている。</p> <p>デザイン等については、今後、修正する可能性があるが、事務局に一任していただいてもよいか。</p> <p>(了承)</p> <p>この計画を策定したことが終結ではなく、これがスタートという意識でいる。計画を進めていくには、皆様の協力をお願いすることになる。今後ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>また、計画の今後の進行管理については、この推進会議で行うこととしている。次回会議では、令和7年度事業の実施状況の報告等を行うので、開催予定は早くても秋頃になると考えている。なお、委員の皆様の任期は令和8年7月31日までとなっているが、事務局としては、引き続き委員の皆様にご就任いただきたいと考えている</p>

<p>部 長</p>	<p>のでよろしくお願ひしたい。  閉会の前に部長からあいさつを申し上げる。</p> <p>一言御礼を申し上げる。  令和6年8月に委員として委嘱させていただき、その後2年間策定に向けて6回の協議を重ねていただいた。委員の皆様には、大変お忙しい中、貴重な御意見をいただいたことに厚くお礼申し上げます。また、会長・副会長には、会議の進行はもとより、答申のとりまとめをいただき重ねて感謝申し上げます。先ほどの答申でもあったが、全ての人が、お互いにやさしさと思ひやりの気持ちをもってつながり、助け合い・支え合いの輪を広げることで、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指す必要があると実感している。今後、本計画を推進していくにあたっては、行政だけで取り組めるものではない。委員の皆様をはじめ、地域や関係機関、事業者等の皆様のお力添えがあつてはじめて取組んでいけるものと考えているので、引き続きの御協力をよろしくお願ひ申し上げます。簡単だが、委員の皆様へのお礼とさせていただきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>4 閉会  それでは以上をもって本日の会議を閉会する。</p>